

ICタグ

－ ICタグの役割と仕組み－

1 ねらい

ICタグは、指の指紋に隠れるくらいの正方形のICチップである。電源は外部から電波で供給する。このタグには、バーコードとは比べ物にならないくらいの多くの情報を保存しておくことができ、このICタグを利用することで、さまざまな情報管理に応用しようとするものである。現在は、さまざまな分野でICタグが活用されており、この技術について理解し、その活用事例を学ぶことで情報社会の問題解決について学ぶ。

2 内容及び教材

(1) 指導内容

情報Ⅰ 情報社会の問題解決（情報技術の役割と影響）

(2) 使用教材（配付資料等）

[ワークシート](#)

3 指導の流れ

(1) 基本的な指導の流れ

時 限	学習内容・学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none">○テーマ決め<ul style="list-style-type: none">・教員の説明を聞き、ICタグについて理解し、各グループで調べるテーマを決定する。・テーマは下の三つから選択する。<ul style="list-style-type: none">(1) 仕組み(2) 有用性（応用例）(3) 安全性の問題○グループ活動<ul style="list-style-type: none">・収集した情報を整理し、その役割、特徴をまとめる。・情報を発表用資料にまとめる。	<ul style="list-style-type: none">・発表する方法については自由とし、パソコンを利用しなくてもよい。
2	<ul style="list-style-type: none">○発表<ul style="list-style-type: none">・調べた内容について各グループで発	<ul style="list-style-type: none">・聞き手に分かりやすく発表するように促す。

	表を行い，それに対して質疑応答を行う。 ○まとめ ・発表，質疑応答を通して，今回学習した内容を振り返る。また発表について自己評価及び相互評価を行う。	
--	--	--

(2) 発展課題

- ・題材を I C タグから Q R コードに変更し，同様の流れで実施する。
- ・ R F I D について調べる。

4 評価の例

評価の例として，次のようなものが考えられる。

時 限	学習内容・学習活動	評価規準	評価方法・評価の観点
1	○グループ活動	I C タグについて，他者と協力して，情報を収集しようとしている。	ワークシート [主体的に学習に取り組む態度]
2	○発表	情報を整理して聞き手に伝わるように発表している。	発表 [思考・判断・表現]